

# 名証通信

## Communication Letter

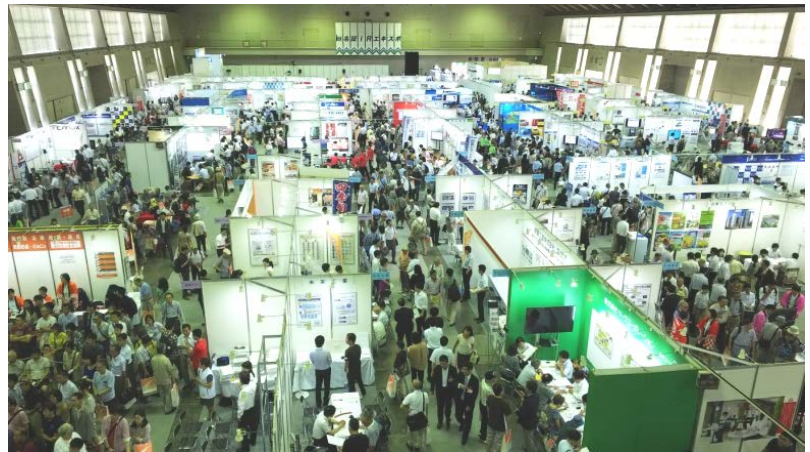


### ◇◇ 名証 I Rエキスポ 2017 を振り返って ◇◇

名古屋証券取引所は、7月21日（金）・22日（土）の2日間に亘り、「名証 I Rエキスポ 2017」を名古屋市（名古屋市中企業振興会館・吹上ホール）において開催しました。

毎年継続して開催してきた「I Rエキスポ」も今年で24回目を迎え、122社（上場企業95社、証券会社等27社）が出展し、来場者数はのべ8,400名を数えました。

今年は、両日とも最高気温が30℃を超える真夏日の中、開場前から300名以上の投資家の行列ができ、開場時刻を10分早めて入場を開始するほどの盛況ぶりでした。



【メイン会場の様子】



【企業ブースでのミニ説明会】

企業ブースで行われるミニ説明会は、多くのブースで立ち見が出るほど来場者の関心が高く、企業担当者からは「準備した資料が1日目でなくなり急遽追加で印刷するほど活況だった」、「投資家から様々なご意見をいただき、とても有益だった」といった声が聞かれました。

出展企業の株主優待展示コーナーでは、バラエティ豊かな優待品の実物に興味深く見入る投資家が目立ち、優待展示コーナーをきっかけに、当該企業のブースを訪れる投資家の姿も見られました。

また、複数の特設ステージでは、著名講師による講演会のほか、「じぶん年金 iDeCo」等を取り上げたマネーセミナーやTVの投資番組の公開収録、「夫婦でチャレンジ金融クイズ」等のプログラムも開催し、これらも多くの立ち見が出るほど好評でした。



【株主優待展示コーナー】



【著名講師による講演会】

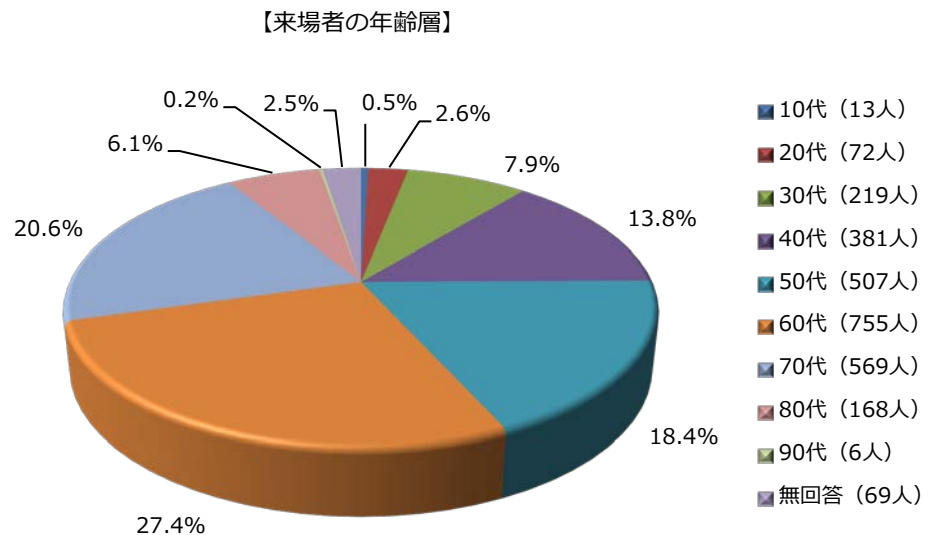
「名証 I Rエキスポ 2017」では、来場者アンケートを実施しましたので、以下では、その集計結果をもとに、来場者の属性やイベントの効果等について分析します。（n=2,759）

## 来場者のうち 20 代～50 代の現役世代が 4 割超

「I Rエキスポ」では、より多くの方々に来場していただくことを目標のひとつに掲げるとともに、株式による資産運用の普及・啓発に資するため、現役世代の参加にも注力しています。

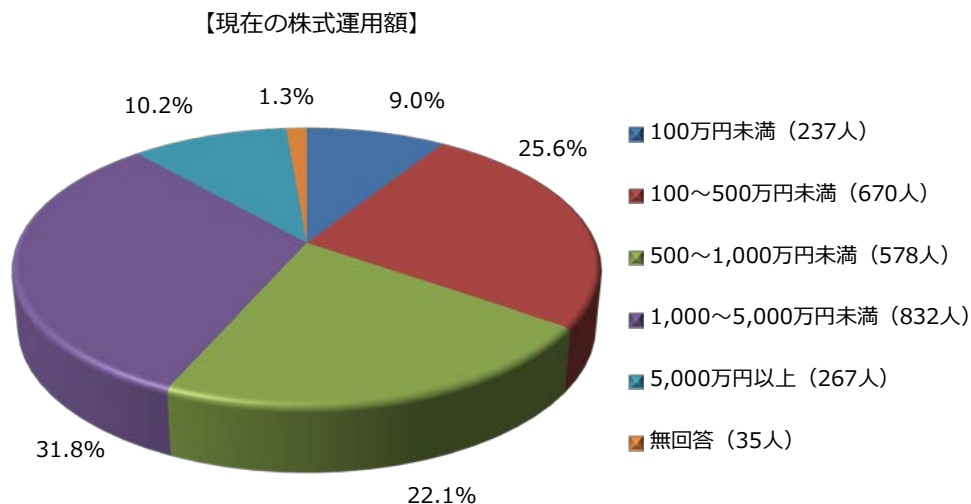
ここ数年は、20代から50代までの現役世代が4割を超えており、今年も42.7%を占めました。

また、会場においては、実際に現役世代の来場者が目立ち、中でも子供連れの若い夫婦の姿が例年より多く見られました。



## 株式運用額 1,000 万円以上が来場者の 4 割超

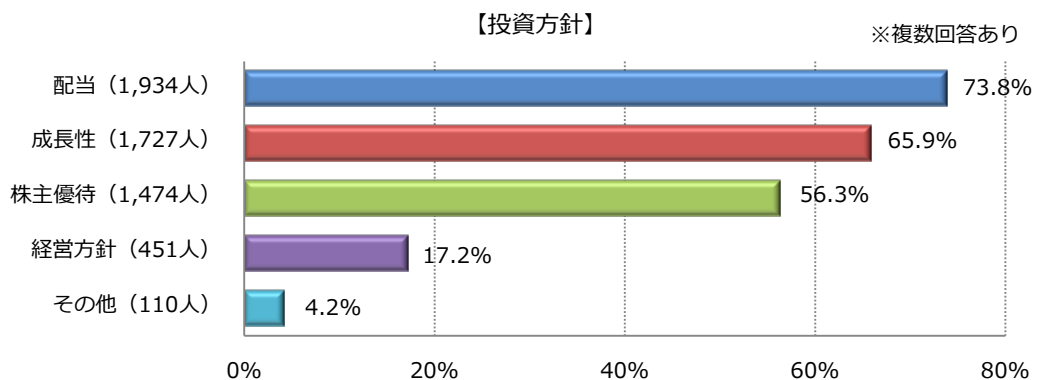
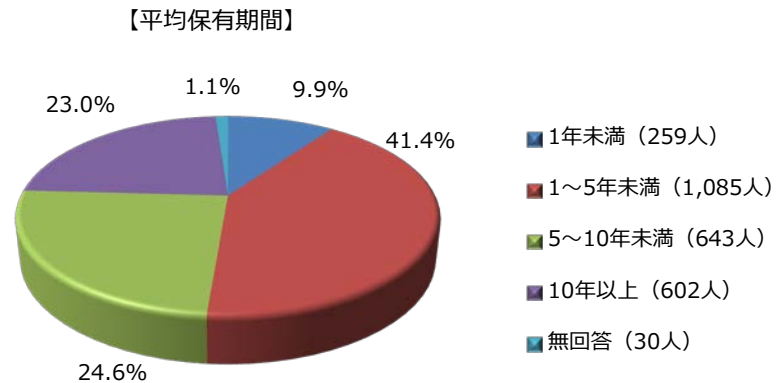
来場者アンケートで「投資経験なし」と回答した人を除く 2,619 人に現在の株式運用額を聞いたところ、1,000 万円以上との回答が 42.0%を占めました。一方、100 万円未満は 9.0%であり、資産運用に株式投資を積極的に活用している人が多く来場したイベントであったといえます。



## 投資スタイルは 9 割程度が中長期保有 —投資方針は配当を重視—

投資経験者に平均保有期間を聞いたところ、1 年未満の短期投資派は 9.9% に止まり、中長期で資産運用を考えている人が大多数を占めました。

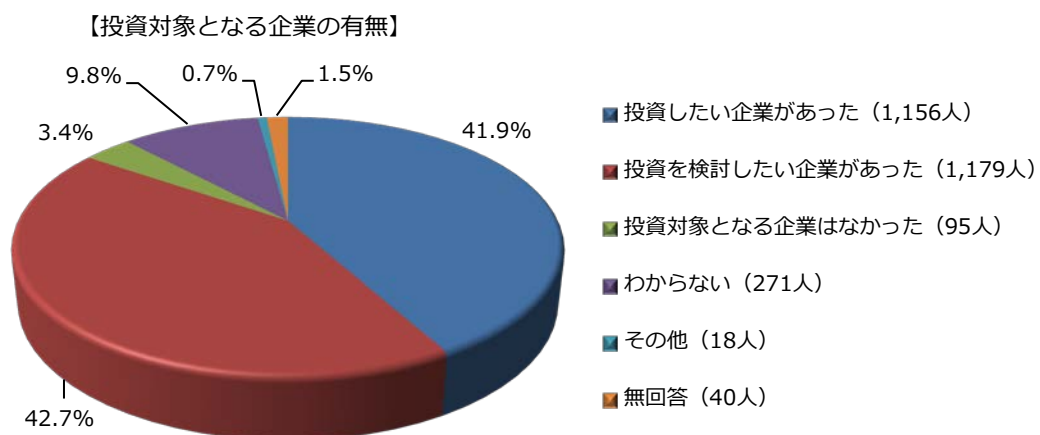
また、投資方針（判断材料）としては、配当、成長性、株主優待といったものが多く、中長期保有の投資方針を裏づける結果となりました。



この結果は、将来に亘って長く応援することができる投資先企業を見つけることを目的に、「I R エキスポ」に参加する来場者が多いことを示しています。

## 投資したい・投資を検討したい企業を見つけた来場者が 8 割超

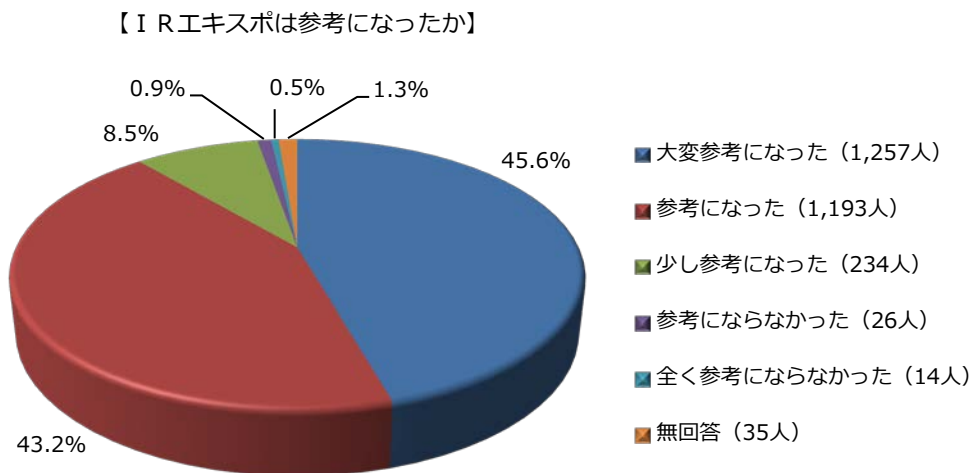
「I R エキスポ」に参加して、「投資したい企業があった」と回答した人は 41.9% に上り、「投資を検討したい企業があった」との回答と合わせると、84.6% の来場者が投資先として関心を持てる企業に出会うことができたと回答しました。



これは、「I R エキスポ」が、上場企業と投資家の架け橋としての役割を十分果たしている証であるといえます。

## 来場者の満足度 一來場者の9割近くが「参考になった」と回答—

「名証 I R エキスポ 2017」に参加して参考になったかどうかを聞いたところ、「大変参考になった」・「参考になった」が 88.8%と 9 割近くを占めました。



当取引所では、「 I R エキスポ」の来場者、出展企業双方の満足度を一層高めるよう努めていきます。

## ◇◇ 夏休み親子経済教室を開催 ◇◇

名古屋証券取引所では、夏休みの恒例行事となっている「夏休み親子経済教室」を 8 月 9 日（水）と 10 日（木）の 2 日間、それぞれ小学 4～6 年生向け、中学生向けに開催しました。

毎年定員を超え、参加をお断りしている人気イベントに、今年は小学生 30 名、中学生 25 名が参加しました。「シェア先生の経済教室」で金融経済や株式会社についての説明を受け、当取引所の売買監視室を見学した後、ボードゲーム「ブルサ」で楽しく株式投資のイロハを体験しました。

「ブルサ」では、さまざまなニュースの発生によって、どの業種の会社がどのような影響を受けるのかについて、自分で考えながら熱心に株式を売買する児童・生徒の姿が見られました。

なお、「ブルサ」の優勝者は、元手資金を 2 万円から 6 万 7 千円に増やした小学 5 年生と、200 万円から 710 万円に増やした中学 3 年生で、両者には当取引所からトロフィーを贈呈しました。



【ボードゲーム「ブルサ」の様様】



【売買監視室の見学】

※シェア先生の経済教室およびボードゲーム「ブルサ」は、東京証券取引所にご協力いただきました。

発行元 株式会社名古屋証券取引所 総務グループ (お問合せ先 TEL 052-262-3171)